

jus研究会大阪大会



#UNIX歴史講座 #kof2020

本日の資料は
こちらで公開します

<https://www.slideshare.net/hourin/>

もしくは
「slideshare 法林」で検索



法林 浩之



@hourin

- 日本UNIXユーザ会 幹事 (元会長)
 - さまざまなコミュニティとイベントを開催
 - 全国各地のイベントで研究会を開催
- フリーランスエンジニア
 - 最近はさくらインターネットの仕事が多い
 - 他にも多彩なイベントを開催
- くわしくは「法林浩之」で検索

本日のゲスト

中野 秀男



- 関西オープンフォーラム 実行委員長 (2002-)
- 中野秀男研究所 (2011-)
- 帝塚山学院大学 非常勤講師
- 大阪市立大学 名誉教授
- ソフトウェア技術者協会(SEA) 幹事
- ほかに肩書多数

日本UNIXユーザ会 (jus)



[ホーム](#) [About jus](#) [入会/更新案内](#) [イベント情報](#) [運用研究会](#) [活動履歴](#) [会員ページ](#)

JAPAN UNIX SOCIETY SINCE
1983

[ABOUT JUS](#)

1983年設立
日本におけるUNIXや
OSSコミュニティの草分け

jus JAPAN UNIX SOCIETY NEWS LETTER
/etc/wall

1999 vol.4

jusの会報

主に活動報告を掲載

jus幹事が編集

設立当初から現在に至るまで継続

試合に至る経緯

- 昔の/etc/wallは紙媒体（現在はPDF）
- jus事務局に眠る古文書の電子化を推進中
- 作業中に/etc/wallが全巻発掘され電子化
- /etc/wallに書かれた活動記録を紹介することで、
当時のUNIX業界やIT業界の状況を伝えたい
- 35年分を一度に紹介するのは無理なので、
各回ごとに年代を区切ったりテーマを設けて説明

おことわり

- 今日の内容は当時のIT業界のごく一部
 - jusの活動記録から見た当時の状況説明
 - jusの活動範囲外の出来事は載っていない
 - 時間の関係で割愛する話題も多い
- NGワード
 - (俺の思い出の)あの出来事が載っていない
 - なつかしい(平成生まれは知らない話なのでそんなこと言わないはず)

お願い

(特に昭和生まれの皆さんへ)

- Zoomのチャットは基本的に質問用
- チャットが昭和生まれの思い出語りで埋め尽くされると質問が埋もれるので
- 質疑応答は時間が余れば行います
- 思い出語りはTwitterなどでどうぞ
- #UNIX歴史講座 #kof2020

今回の主な話題

1980-2000年代の/etc/wallから
中野先生が登場するものを
中心に紹介

シンポジウム

jus関西UNIX研究会

地域インターネット

関西オープンフォーラム

UNIX ワークショップ'86

in

横 浜

はじめに

「UNIX ワークショップ'86 in 横浜」は、1986年10月22日から24日まで、横浜の中華街のなかにあるホテルでおこなわれました。これは、当時のさまざまなUNIXに関する話を、泊り込みで、話してしまおうというものでした⁴。

/etc/wall に中野先生初登場
伝説のイベントだったらしい

いいわけ

今、『最新 UNIX』を読みかえしてみると、このワークショップは5つのセッション、

- A. ソフトウェア開発環境
- B. ネットワークと分散環境
- C. オフィスと UNIX
- D. ハッカーたちの BOF
- E. UNIX の将来

に分れていたらしい。しかし、私は、B、DとEのセッションしか記憶がありません(どうも、部屋で眠ってい

各セッションのテーマ
(セッションの記録はbit臨時増刊
「最新UNIX」に掲載)

6	石田 晴久 いしだ はるひさ	東京大学
28	岸田 孝一 きしだ こういち	ソフトウェア・リサーチ・アソシエイツ
41	斎藤 信男 さいとう のぶお	慶応義塾大学
43	坂下 秀 さかした しゅう	アステック
44	坂村 健 さかむら けん	東京大学
45	坂本 文 さかもと あや	デジタルコンピュータ
67	孫 正義 そん まさよし	日本ソフトバンク
87	中野 秀男 なかの ひでお	大阪大学
112	村井 純 むらい じゅん	東京工業大学
115	山口 英 やまぐち すぐる	大阪大学

参加者 リスト (抜粋)

第12回 UNIXシンポジウム 報告

中村 眞 松浦敏雄
シャープ 大阪大学

第12回シンポジウムは、大阪リバーサイドホテルで開催されました。大阪での開催が3回目ということもあり運営のほうは随分とスムーズになってきたような気がしますが、予期せぬ出来事もありました。

第12回UNIXシンポジウム
(1988年11月)

シンポジウム

- UNIXに関するカンファレンス
 - 学会と同様に論文を出して審査
- jus創立当時(1983年)から2001年まで、毎年2回開催(夏は東京、秋は大阪)
- 主な内容
テクニカルセッション、併設展示会、
情報交換パーティー(懇親会)、BOF

CALL FOR PAPERS

第 18 回 jus UNIX シンポジウム論文募集

近年、UNIX は計算機科学における研究やソフトウェア開発などの分野だけでなく、ビジネスやオフィスなどでも使われるようになり、ユーザ層も大きな広がりを見せています。このような状況のなか、UNIX に関心を寄せる人びとのあいだでは UNIX に関する技術的・先進的な情報を得たいという希望が高まっています。そこで日本 UNIX ユーザ会では、UNIX に関連する技術的内容の論文発表の場として第 18 回 jus UNIX シンポジウムを開催いたします。皆様の積極的な論文投稿をお待ちしております。

なお、応募された論文はプログラム委員会で厳正な審査をおこない、採否を決定いたします。また、優秀な論文・発表に対しては、論文賞やプレゼンテーション賞などが授与されます。

第 18 回 jus UNIX シンポジウム開催概要

場所	オオサカサンパレス (〒 565 大阪府吹田市千里万博公園 1-5 Tel:06-878-3400)	
日時	1991 年 11 月 14 日 (木) ・ シンポジウム 9:30 - 17:00 ・ パーティ 18:00 - 20:00 ・ 展示会 9:00 - 17:30	1991 年 11 月 15 日 (金) ・ シンポジウム 9:00 - 17:00 ・ 展示会 9:00 - 15:30

プログラム委員会

委員長	中野秀男 (大阪大学)	
委員	松浦敏雄 (大阪大学)	山口英 (大阪大学)
	齊藤明紀 (大阪大学)	砂原秀樹 (電通大)
	熊谷典大 (シャープ)	市川至 (富士通)

大阪の
シンポジウムは
中野先生が
プログラム委員長

阪大 Night Workers

シンポジウムの報告の最後に、是非とも記しておきたいことがあります。それは、ボランティアをしてくれた学生さんたちの大活躍ぶりです。今回は、電気通信大学、長野大学、大阪大学からたくさんの学生さんがシンポジウムの

ところで、大阪シンポジウムではスタッフルームにマックintoshを持ち込み、[/jus/Osaka/ReadMe](#) という新聞を発行しました。この編集局は“[jus 関西出版局](#)”と呼び、編集者は“阪大 Night Workers”のみなさんです。今回は、全部で7号の新聞が作成されました。1日目は1号

/ jus / Osaka / README

第16回UNIXシンポジウム

No.18 Nov.10 1989

1990年11月15,16日

JUS関西出版局

於大阪リバーサイドホテル

阪大NightWorkers

16th Sympo. 1990 No.6 (通算 25号)

Nov.16 01:45am

ネットワーク管理BOF報告

JUS大阪初日の14:30から、ネットワーク管理BOFが開かれました。

雰囲気をうまく伝えられないとは思いますが、BOFの内容をお知らせしてみようと思います。2日前には、JUS主催 "Network Services Workshop (NSW)" が開かれたこともありNSWのゲストとして招かれた、Quaterman / Smoot氏も飛び入りで参加していただき大変盛り上がったものとなりました。

最初に、ネットワーク管理者の仕事として

Promotion: ネットワークを活用してもらうためのプロモーション

Administration: 一般的なハード/ソフトの管理

Management: Administrationと違うのは、人の問題が絡んだ問題を扱う点

Education: いかに使え人間を育てるか?

の4つの仕事がある! との話があり、いかにこれらの仕事をうまくこなしてゆくか? との話になりました。

そしてもっとも深刻な問題は、人の問題、そしてnetworkingにおける政治の問題であろうとの事で、ではスタッフを育てゆくためには? との話になり

(1) 自由になる環境を与え、好きな事をやらせながら育ててゆく

(2) Mailコミュニケーションを使わなければ、何もできない環境にしまいその中からできそうな人間をピックアップしてゆく

等の方法が紹介されました

- (A) (1) Network をセキュリティレベルに分けて、物理的に分離する。
(2) 分離されたネットワークが相互に接続されているマシンを機能を落としてでも、守り抜く
(3) 専用のGateway を設置し、IP forward を落としてしまう
(4) パスワード管理をしっかり行う。
等の答がよせられました。

(Q) 1万人のユーザーを管理するには?

- (A) 現在のUNIXでは、login 名は8byteまでであり、login 名のconflictをうまく避ける方法はない。mailのアドレス等に、sub domainを導入する。又は、セキュリティ的にはUIDが重要である。
等の答えがありました。

UNIX Fair '90 開催!

今年もUNIX Fairが新宿NSビルで、12月4、5日の2日間にわたって行われます。1986年から始められたこのフェアも今回で第6回目を迎えることとなりました。

このフェアは回を重ねるごとに注目を集めてまいりましたが、今回は「ますます発展するUNIXテクノロジーとビジネス」をテーマに、UNIXに関する最新情報を提供したいと思っております。

UNIX関連技術、ビジネス、アプリケーションなどに感心をお持ちの方にとって、有意義なイベントとなると確信しております。

今回は前回に比べて、展示会場のネットワーク構成を大幅に変更し、下記のような構成としました。このように

おわりに

今回は、新しい会場になって初めてのシンポジウムだったため、会場の機能を駆使した発表はなかったものの、ビデオを利用した発表など、今後のマルチメディア時代を思わせる楽しいシンポジウムでした。来年は、このすばらしい会場を有効に活用した発表がとびだすことを期待しています。なお、プログラム委員長の中野秀男先生のおかげで、(会場からはちょっと遠いですが)千里中央の夜もたいへん楽しいものだったようです。

夜はかなり遊んだらしい

jus 関西 活動報告

高野 豊

松下電器産業 (株)

もうすっかりおなじみになった感のある jus 関西の UNIX 研究会も 5 年目にはいりました。すでに 27 回の開催を数えるに至っています。この間、だいたい 1 回につき 3 テーマの発表をおこなってきましたので、すでに 81 テーマについて発表がおこなわれたこととなります! 手弁

jus 関西活動報告 (1989 年 9 月)

jus関西UNIX研究会

- 現代のIT勉強会みたいなもの
- 1984年から2006年まで開催
- 偶数月の水曜午後に大阪で開催
- 60分 × 3セッション + 第4セッション
- 齊藤明紀、法林浩之など多くの選手を輩出
- 現在のjus研究会全国ツアーはこれの後継

最近の UNIX 研究会における発表テーマは以下のとおりです。

第 23 回 1988 年 6 月 22 日 (水) 14:00 ~ 17:00

1.リアルタイム日本語 SA/SD ツールの紹介

立田 種宏 (SONY TEKTRONIX)

2.sed、awk して船山に上る 熊谷 典大 (SHARP)

3.大阪大学通信工学科ネットワーク ComNet

構築と運用の光と陰 中野 秀男 (大阪大学)

jus関西UNIX研究会に
中野先生初登場(1988年6月)

第 26 回 1988 年 12 月 14 日 (水) 14:00 ~ 17:00

- 1.LAN 構築のカンどころ 齊藤 明紀 (大阪大学)
- 2.出版における文書処理 大久保 讓治 (ASCII)
- 3.外から見た UNIX の世界 中野 秀男 (大阪大学)

第 29 回 1989 年 12 月 13 日 (水)14:00-17:00

- 1 インターネットワーク 大阪大学基礎工学部 齋藤明紀
- 2 インテリジェント・ドキュメンテーション・システム
日商エレクトロニクス (株) 久吉重幸
- 3 情報セキュリティの話 - 暗号の使い方、使われ方、***方
大阪大学工学部 中野秀男

年末最後のセッションは
中野先生が恒例に

第74回 UNIX 研究会

日時: 1997年6月18日(水) 14:00 - 17:00

場所: 大阪市立大学(杉本キャンパス)

参加者: 43名 + 講師2名 + 市大関係者4名 + Staff 2名

発表:

1 大阪市立大学のネットワークとその管理

大阪市立大学 学術情報総合センター 中野秀男

2 学術情報総合センターの計算機システムとその管理

大阪市立大学 学術情報総合センター 松浦敏雄

3 学術情報総合センター見学会

4 フリーディスカッション

後年は大阪市立大学の見学会も

第 95 回 jus 関西 UNIX 研究会

次の研究会を下記要領で行います。なお、参加申し込みは、当日会場で先着順となりますので、近隣の UNIX ユーザーの方々ともお誘い合わせの上お越し下さい。タイトルに関しましては、決まり次第ホームページでお知らせいたします。

◇◆プログラム◇◆

発表:

- | | |
|---------------------|-------|
| 1.大阪大学 基礎工学部 | 齊藤 明紀 |
| 2.(株)アステック・プロダクツ | 坂下 秀 |
| 3.大阪市立大学 学術情報総合センター | 中野 秀男 |
| 4.フリーディスカッション | |

さていつも第 4 セッションとしてご案内している“フリーディスカッション”の内容ですが、これは通常場所を変え会費も別に徴収してアルコール燃料などを補給しながらのセッションとなります。研究会の会場が大阪の北梅田のド真中にそびえたつ阪急グランドビルですから、そういったセッションをおこなうには絶好の立地条件であるといえるでしょう :-) 研究会の最終セッションが終り、夕闇がせまって街に夜の活気が訪れるころ、研究会の興奮をそのままに第 4 セッションになだれこみます。研究会はや

セッション 3 — junet、地域ネット

そしてインターネット。最後はやっぱりセキュリティ

中野秀男 氏 (大阪大学)

「時間があまりないので恒例のセキュリティの話はあまりできない」という前振りから始まりました。中野先生は毎年 jus 関西研究会の大トリを務められます。今年は地域ネットの件で全国を飛び回り風邪を召されたそうです。風邪声でしたが、舌は絶好調でした。

第44回jus関西UNIX研究会
初めて地域ネットワークの話題が登場
(1992年12月)

地域ネットワーク

JUNET 協会はボランティア体制からの脱却、JNIC との関係、JUNET の事務局などの必要性から設立されましたが、最近では月に 20 サイトずつ参加組織が増えています。こうした全体的な枠組みのなかで、各地で地域ネットワークができつつあります。

それまでのボランティアによるインターネット接続(JUNET)から ISP による接続への移行期に各地で地域ネットワークが設立

関西ネットワーク相互接続協会 (WINC) の大枠は以下のとおりです。

- 大学関係 (ac,go) は大阪大学、京都大学、神戸大学などに接続。企業 (co、or) は NOC にスター状に接続する。
- 幹線 (backbone) は IIJ を経由。
- 地域活性化も今後考えていく。
- 参加はオープンにしたい。
- 当面は、団体として赤字が出ない運用をおこなう。

中野先生はWINCの代表幹事を務める

て、大阪大学の中野先生が来られたので再度乾杯をしました。この乾杯は、今まで大阪大学にネットワーク接続していた企業のほとんどが、無事に WINC(関西の地域ネット)へ移行できたので、今までお世話になっていた方々への感謝の意を込めてのものでした。

第50回jus関西UNIX研究会 (1993年12月)

この頃には関西圏の企業はほとんど
WINCに移行できた模様

第22回 UNIX シンポジウム報告

11月4日(木)~5日(金)の2日間、大阪・千里中央の千里ライフサイエンスセンターで第22回 jus UNIX シンポジウムが開催されました。今回のプログラムは、通常おこなわれている論文発表のほかに、地域ネットワークや商用ネットワークをテーマにしたパネル・ディスカッション、製薬会社や新設大学における UNIX の導入事例紹介

第22回UNIXシンポジウム (1993年11月)

パネルディスカッション

司会：中野秀男（大阪大学）

- 地域ネットワークと商用ネットワーク：浅羽登志也 (IIJ)、松本敏文 (Spin)、北田義孝 (NORTH)、樋地正浩 (TiA)、榊原智之 (TRENDY)、西武 進 (CSI)、中山 仁 (KARRN)

2つの商用ネットワークと6つの地域ネットワークからパネラーを迎え、討論した。前半は、IIJとSpinの2つの商用ネットワークのパネラーが、それぞれ配布されたレジュメをもとに10分程度のプレゼンテーションをおこなった。これに対し、会場からは、健全な日本版

地域ネットと商用ネットに関する パネルディスカッション

Session 3(パネル・ディスカッション)

司会：中野秀男 (大阪大学)

- 地域からの情報発信とその問題点 …… 小栗宏次 (名古屋工業大学 TRENDY)、西武 進 (SES CSI)、山之上卓 (九州工業大学 KARRN)、齋藤武夫 (日本電子計算 TiA)、北田義孝 (札幌エレクトロニクスセンター NORTH)

北海道、東北、東海、中国、四国、九州の各地域ネットワークからパネラーを迎えてディスカッションがおこなわれた。また、(パネラーではないが) 会場の白井氏 (任天堂) から、関西の地域ネットワークについて発言があった。

翌年のシンポジウムでも実施
(1994年10月)

関西オープンソース+フリーウェア 2002

報告

法林浩之

日時 2002年12月6日(金)~7日(土)

会場 大阪産業創造館

2002年12月6日(金)~7日(土)の2日間、大阪産業創造館にて「関西オープンソース+フリーウェア 2002」が開催されました。その模様を報告します。

このイベントは、合い言葉が「開発者とユーザのコラボレーションを関西から!」となっていることからわかるように、オープンソースやフリーウェアの開発者コミュ

第1回 KOF (2002年12月)

関西オープンフォーラム

- 関西圏のオープンソースやコミュニティが集まるイベント
- 2002年開始 (今年で19回目)
- 講演会/セミナー/展示会/ステージ/懇親会などで構成
- 名称の変遷
 - 関西オープンソース＋フリーウェア
 - 関西オープンソース＋関西コミュニティ大決戦
 - 関西オープンフォーラム

☆ステージ

会場: 大阪産業創造館 3階マーケットプラザ内ステージ
展示会場の一角 (ミーティングルームとは反対側) に、
備え付けのオープンステージがあります。ここでは、オー
プンソースおよびフリーウェアに関する活動を行っている
方々をお招きし、それぞれの思いを語っていただくと
ともに司会者や客席も交えて楽しいトークを繰り広げる
コーナーが実施されました。2日間で合計 23 のプログラ
ムが行われましたが、そのタイトルと発表者の一覧をお
送りします。

展示会場の一角にステージを設置

12月6日(金)

- 開会のあいさつ：実行委員長：中野秀男(大阪市立大学)
- パネルディスカッション「オープンソース+フリーウェアにかける思い」：パネラー：齊藤明紀(大阪大学)、前田青也(グッデイ)、和田俊弘(イージーネット) 司会：中野秀男(大阪市立大学)

毎年最初のステージは中野先生

◇懇親会

11月11日(金)の夜に、会場近くのO's北棟3階にあるビュッフェ左近にて懇親会を行いました。今年も約180人の参加がありました。この業界の懇親会では食べ物がすぐなくなってしまう、十分に食事できないことが多いのですが、この店はもともと食べ放題メニューがあるせいか量が非常に充実しており、近年は懇親会参加者の胃袋とお店の一大決戦の様相を呈しています。結果としては懇親会終了後にTwitterのタイムラインで「今年も食べ放題で店に負けた」というKOF関係者のツイートが続々と並んだことを報告しておきます:-)。

腹いっぱいのお懇親会が名物に

関西オープンフォーラム
10周年記念シンポジウム報告
法林浩之

日時 2011年5月21日(土) 14:00~17:00

会場 大阪産業創造館 4階 イベントホール

jusが共催している「関西オープンソース+関西コミュニティ大決戦」(KOF)が今年で10周年を迎えることになり、それを記念するシンポジウムが開催されました。場所は、KOFの初回から数年間の会場であった大阪産業創造館です。参加者は約120人でした。以下、各セッションの様相を中心に報告します。

KOF 10周年記念シンポジウム (2011年5月)

◎講演会「IT/ICT の今とこれから」

- 講師：中野秀男 (KOF 実行委員長)

最初のセッションは、KOF の立ち上げから現在に至るまで実行委員長を務めている中野先生の講演でした。中野先生は 2011 年 3 月で大阪市立大学を定年退官されたので、今回の講演はそれを記念する意味合いもありました。講演内容は、「ボランティアとは何か」というキーワードを軸に、自身が関わったプロジェクトを紹介していくというものでした。

中野先生の講演会を開催

の参加がありました。特大の瓶ビールが開栓されたり、中野先生の似顔絵入りのグラスが贈呈されるなど、KOF設立以来ずっとお世話になってきた中野先生への感謝の意が込められたパーティーとなりました。本人の話によると今後の目標は「75歳で鶴橋でバリバリ焼肉を食べること」だそうで、まだまだ元気で活躍する姿を見ることができそうです。

10周年記念シンポジウムの懇親会

皆さんに

お伝えしたいこと

今の流行技術も
20年後には
歴史講座の題材

今すぐこの時代の

まとめを作る必要はない

でも今を記録に残すことは

やっておいた方がいい

今後の予定

またそのうちやります

他の年代の資料も
こちらで公開中

<https://www.slideshare.net/hourin/>

もしくは
「slideshare 法林」で検索

ありがとうございました



またお会いしましょう！